

2019年度 第1回

# 中京大学所蔵国書善本展示会

中京大学名古屋図書館は、2019年度の第1回国書善本展示会を下記の日程で開催します。  
普段は貴重書庫に置かれて一般には公開されていない貴重な国書です。ぜひご高覧ください。

展示場所： 中京大学名古屋図書館1階

展示期間： 7月12日(金)～9月30日(月)

## 展示作品

しゅてんどうじ  
1. 酒呑童子……………室町後期写 1冊

みなもとのらいこう ふじわらのほうしやう  
悪鬼酒呑童子を源頼光、藤原保昌らが退治する内容のお伽草子の奈良絵  
巻。頼光一行が鬼ヶ城についたあと一度鬼に捕縛くびされること、酒呑童子の首  
づか  
塚の由来が記されていることなど、他の伝本に認められない特徴があるという。



ちょうりょう  
2. 張良……………江戸前期写

1冊

漢の高祖に仕えた張良の一代記とも言うべきお伽草子の奈良絵本。老人が川に落とした沓を拾った張良が太公望の兵法を記す書物を賜った話、項羽と沛公(後の漢の高祖)が蜂起して秦を滅ぼす話などが記されている。



しんちょうき  
3. 信長記……………江戸初期写

1冊

織田信長の一代記の古活字本で、太田牛一によって書かれた『信長公記』をもとにして、小瀬甫庵が改定したもの。信長公記に比べ歴史資料としての信用は低い、手書きの写本でのみ伝わった信長公記に比べ、沢山の人の読まれた。

